



2026年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2026年5月20日

上場会社名 株式会社 フライトソリューションズ
コード番号 3753 URL <https://www.flight.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 圭一郎
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 松本 隆男 TEL 03-3440-6100
定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	2,927	4.4	276		297		252	
2025年3月期	3,063	80.8	298		333		382	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	20.22		43.0	17.1	9.4
2025年3月期	38.61		82.0	22.0	9.7

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 百万円 2025年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	1,740	672	38.6	46.23
2025年3月期	1,509	503	33.3	42.87

(参考) 自己資本 2026年3月期 671百万円 2025年3月期 503百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	40	341	150	221
2025年3月期	75	349	331	453

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2026年3月期		0.00		0.00	0.00			
2027年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2027年3月期の業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,840	45.2	5		0		0		0.00
通期	5,030	71.8	380		370		240		16.51

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期	14,536,700 株	2025年3月期	11,756,500 株
期末自己株式数	2026年3月期	1,025 株	2025年3月期	1,004 株
期中平均株式数	2026年3月期	12,499,578 株	2025年3月期	9,911,222 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

また、決算補足説明資料はTDnet上に同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 営業損失の計上について	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により国内景気は緩やかな回復傾向が継続する中で、米国の通商政策の影響により先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は、事業会社向けのシステム開発・保守、並びに電子決済ソリューション「Incredist」シリーズやAndroid端末によるタッチ決済ソリューション「Tapion」シリーズの開発・販売等に注力いたしました。

以上の結果、当事業年度の業績は、売上高2,927百万円（前期比4.4%減）、営業損失276百万円（前期は営業損失298百万円）、経常損失297百万円（前期は経常損失333百万円）、当期純損失252百万円（前期は当期純損失382百万円）となりました。

（単位：百万円）

	当事業年度	前事業年度	前期比	
			増減額	増減率
SIソリューション事業	932	1,160	△228	△19.7%
決済ソリューション事業	1,915	1,780	134	7.6%
ECソリューション事業	79	122	△42	△34.7%
売上高	2,927	3,063	△135	△4.4%
SIソリューション事業	87	144	△57	△39.8%
決済ソリューション事業	△41	△101	60	—
ECソリューション事業	△29	△48	19	—
調整額	△293	△293	0	—
営業損益	△276	△298	22	—
経常損益	△297	△333	35	—
当期純損益	△252	△382	129	—

セグメントの業績は次のとおりであります。

① SIソリューション事業

SIソリューション事業においては、事業会社の基幹システム開発・保守等を行いました。

当事業年度は、前事業年度に売上計上した大型システム開発の反動等により、減収減益となりました。

以上の結果、売上高は932百万円（前期比19.7%減）、営業利益は87百万円（前期比39.8%減）となりました。

② 決済ソリューション事業

決済ソリューション事業においては、電子決済ソリューション「Incredist」シリーズ、Android端末によるタッチ決済ソリューション「Tapion」シリーズ、及びマイナンバーカードを用い本人認証（公的個人認証）ソリューション「myVerifist」の開発・販売、並びにフライト決済センターの開発に注力いたしました。

当事業年度は、当期末の納品を予定していた「Incredist Premium III」の大口案件の納期が来期（2027年3月期）の第1四半期になる見込みとなったこと及び上記ソリューションの開発・提案活動に注力したこと等により、売上高は1,915百万円（前期比7.6%増）、営業損失は41百万円（前期は営業損失101百万円）となりました。

③ ECソリューション事業

ECソリューション事業においては、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B II」の販売に注力いたしました。

当事業年度は、「EC-Rider B2B II」の提案活動に注力したことにより営業損失となりました。

以上の結果、売上高は79百万円（前期比34.7%減）、営業損失は29百万円（前期は営業損失48百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の総資産は、前事業年度末と比べ231百万円増加し、1,740百万円となりました。主な増減要因は、商品の増加（347百万円増）、ソフトウェアの増加（111百万円増）及び現預金の減少（231百万円減）であります。

負債は、前事業年度末と比べ62百万円増加し、1,068百万円となりました。主な増減要因は、買掛金の増加（153百万円増）、社債の減少（68百万円減）及び長期借入金金の減少（54百万円減）であります。

純資産は、前事業年度末と比べ168百万円増加し、672百万円となりました。主な増減要因は、資本金及び資本剰余金の増加（420百万円増）、当期純損失の計上（252百万円減）であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、主として当期純損失の計上、無形固定資産の取得による支出及び株式の発行による収入により、当事業年度末は221百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、支出した資金は40百万円となりました。これは主に、棚卸資産の増加額320百万円、税引前当期純損失318百万円の計上及び減価償却費237百万円の計上等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は341百万円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出306百万円及び有形固定資産の取得による支出35百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は150百万円となりました。これは主に、株式の発行による収入391百万円、社債の償還による支出118百万円及び長期借入金の返済による支出78百万円等によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期
自己資本比率(%)	46.2	48.9	26.0	33.4	38.6
時価ベースの自己資本比率(%)	472.9	403.4	177.8	203.2	136.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注2）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注3）有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

（注4）2022年3月期から2024年3月期までのキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオにつきましては、連結財務諸表を作成していたため記載しておりません。

2025年3月期及び2026年3月期は営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

(単位：百万円)

	上半期			通 期		
	当期(実績)	次期(予想)	当期比	当期(実績)	次期(予想)	当期比
売上高	1,266	1,840	573	2,927	5,030	2,102
営業利益	△193	5	198	△276	380	656
経常利益	△205	0	205	△297	370	667
当期純利益	△206	0	206	△252	240	492

次期の見通しにつきましては、SIソリューション事業については、既存顧客向けのシステム開発、DX推進支援、並びに「Google Workspace」等のクラウドサービスを活用したシステム開発支援に注力してまいります。

決済ソリューション事業については、電子決済ソリューションの新モデル「Incredist Premium III」及びAndroid端末によるタッチ決済ソリューション「Tapion」シリーズの拡販、並びに自社運営の決済センターサービスの開発及び拡販に注力してまいります。次期以降、手数料収入等のストックの収入の拡大により経営の安定化を図ります。

ECソリューション事業については、ECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B II」及びカートASP型のB2B EC構築サービス「EC-Rider Primo」の拡販に注力してまいります。

次期の業績は、売上高は5,030百万円(当期比71.8%増)、営業利益は380百万円(当期は営業損失276百万円)、経常利益は370百万円(当期は経常損失297百万円)、当期純利益は240百万円(当期は当期純損失252百万円)の見通しであります。

上記業績予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しております。予想には様々な不確定要素が内在しており、予想数値を確約又は保証するものではありません。

(5) 営業損失について

2025年3月期（前事業年度）は、決済ソリューション事業において、タッチ決済ソリューション「Tapion」シリーズ及び多機能モバイル決済端末「Incredist Premium III」の開発費用が発生したこと、並びに2025年3月期（前事業年度）に売上を計画していた「Incredist Premium III」の大口案件が2026年3月期（当事業年度）の納品予定になったこと等により、2024年3月期（前々事業年度）以上に営業損失が拡大することになりました。

2026年3月期（当事業年度）は、決済ソリューション事業において、当期末の納品を予定していた「Incredist Premium III」の大口案件の納期が2027年3月期（翌事業年度）になる見込みとなったこと及び各ソリューションの開発・提案活動に注力したことにより営業損失276百万円を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況となっておりますが、「Incredist Premium III」の複数の大口案件が2027年3月期（翌事業年度）に納品見込みであること及び追加の資金調達について金融機関と交渉中であることから、現時点では資金繰り上の懸念はないと考えております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	453,606	221,677
売掛金	254,610	237,701
契約資産	33,268	9,100
商品	70,764	418,036
原材料	43,417	18,067
仕掛品	5,501	3,744
前払費用	28,045	25,910
前渡金	—	50,312
その他	23,642	25,274
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	911,857	1,008,825
固定資産		
有形固定資産		
建物	42,679	48,132
減価償却累計額	△23,762	△33,861
建物（純額）	18,917	14,270
工具、器具及び備品	310,964	313,319
減価償却累計額	△257,851	△292,627
工具、器具及び備品（純額）	53,112	20,692
有形固定資産合計	72,029	34,962
無形固定資産		
ソフトウェア	310,921	421,995
ソフトウェア仮勘定	126,035	114,142
無形固定資産合計	436,956	536,138
投資その他の資産		
関係会社長期貸付金	110,644	118,311
敷金及び保証金	67,156	67,156
繰延税金資産	—	68,600
その他	3,828	3,276
貸倒引当金	△92,700	△96,400
投資その他の資産合計	88,929	160,943
固定資産合計	597,915	732,045
資産合計	1,509,773	1,740,870

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	147,050	300,499
短期借入金	150,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	78,700	54,300
1年内償還予定の社債	118,000	68,000
未払金	77,443	62,093
未払費用	20,680	27,102
契約負債	6,915	84,027
未払法人税等	13,188	16,537
未払消費税等	22,375	6,849
預り金	6,409	85,379
その他	733	—
流動負債合計	641,496	804,789
固定負債		
長期借入金	192,592	138,292
社債	126,000	58,000
資産除去債務	21,077	35,898
関係会社事業損失引当金	24,700	31,700
固定負債合計	364,369	263,890
負債合計	1,005,866	1,068,679
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,433,784	1,644,171
資本剰余金		
資本準備金	1,424,459	1,634,846
資本剰余金合計	1,424,459	1,634,846
利益剰余金		
利益準備金	7,132	7,132
その他利益剰余金		
別途積立金	69,367	69,367
繰越利益剰余金	△2,429,384	△2,682,124
利益剰余金合計	△2,352,884	△2,605,624
自己株式	△1,452	△1,457
株主資本合計	503,906	671,935
新株予約権	—	255
純資産合計	503,906	672,190
負債純資産合計	1,509,773	1,740,870

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	3,063,284	2,927,500
売上原価	2,693,573	2,559,969
売上総利益	369,711	367,530
販売費及び一般管理費	668,644	643,914
営業損失(△)	△298,933	△276,383
営業外収益		
受取利息	133	502
助成金収入	2,434	2,437
為替差益	—	7,152
その他	73	73
営業外収益合計	2,641	10,165
営業外費用		
支払利息	10,788	11,671
為替差損	3,270	—
株式交付費	17,032	16,109
その他	5,682	3,417
営業外費用合計	36,773	31,197
経常損失(△)	△333,065	△297,415
特別利益		
関係会社貸倒引当金戻入額	19,300	—
特別利益合計	19,300	—
特別損失		
減損損失	47,837	9,929
関係会社貸倒引当金繰入額	—	3,700
関係会社事業損失引当金繰入額	20,000	7,000
特別損失合計	67,837	20,629
税引前当期純損失(△)	△381,603	△318,045
法人税、住民税及び事業税	3,292	3,294
法人税等調整額	△2,200	△68,600
法人税等合計	1,092	△65,306
当期純損失(△)	△382,695	△252,739

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本								新株 予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本 合計		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合 計				
				別途積立金	繰越利益 剰余金					
当期首残高	1,205,123	1,195,798	7,132	69,367	△2,046,689	△1,970,189	△1,452	429,279	—	429,279
当期変動額										
新株予約権の 発行									3,220	3,220
新株の発行 (新株予約権の 行使)	228,660	228,660						457,321	△3,220	454,101
当期純損失 (△)					△382,695	△382,695		△382,695		△382,695
自己株式の取得										—
株主資本以外の 項目の当期変動 額 (純額)									—	—
当期変動額合計	228,660	228,660	—	—	△382,695	△382,695	—	74,626	—	74,626
当期末残高	1,433,784	1,424,459	7,132	69,367	△2,429,384	△2,352,884	△1,452	503,906	—	503,906

当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本								新株 予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本 合計		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合 計				
				別途積立金	繰越利益 剰余金					
当期首残高	1,433,784	1,424,459	7,132	69,367	△2,429,384	△2,352,884	△1,452	503,906	—	503,906
当期変動額										
新株予約権の 発行									5,120	5,120
新株の発行 (新株予約権の 行使)	210,386	210,386						420,772	△4,865	415,907
当期純損失 (△)					△252,739	△252,739		△252,739		△252,739
自己株式の取得							△5	△5		△5
株主資本以外の 項目の当期変動 額 (純額)									—	—
当期変動額合計	210,386	210,386	—	—	△252,739	△252,739	△5	168,028	255	168,283
当期末残高	1,644,171	1,634,846	7,132	69,367	△2,682,124	△2,605,624	△1,457	671,935	255	672,190

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失 (△)	△381,603	△318,045
減価償却費	196,916	237,465
支払利息	10,788	11,671
売上債権の増減額 (△は増加)	15,273	41,077
棚卸資産の増減額 (△は増加)	106,900	△320,392
仕入債務の増減額 (△は減少)	△83,390	153,448
契約負債の増減額 (△は減少)	△19,789	77,112
前渡金の増減額 (△は増加)	12,967	△50,312
その他	84,509	138,799
小計	△57,427	△29,175
利息及び配当金の受取額	133	502
利息の支払額	△12,667	△11,671
法人税等の支払額	△5,668	△411
営業活動によるキャッシュ・フロー	△75,631	△40,756
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△66,986	△35,084
無形固定資産の取得による支出	△282,344	△306,204
投資活動によるキャッシュ・フロー	△349,330	△341,289
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150,000	△50,000
長期借入金の返済による支出	△118,852	△78,700
社債の償還による支出	△148,000	△118,000
株式の発行による収入	445,258	391,701
新株予約権の発行による収入	3,220	5,120
その他の支出	—	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	331,626	150,116
現金及び現金同等物に係る換算差額	161	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△93,174	△231,928
現金及び現金同等物の期首残高	546,780	453,606
現金及び現金同等物の期末残高	453,606	221,677

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社が有している子会社は、利益基準及び剰余金基準からみて重要性の乏しい非連結子会社であるため、記載を省略しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の事業部を置き、各々が包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社は、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「SIソリューション事業」、「決済ソリューション事業」及び「ECソリューション事業」の3つを報告セグメントとしております。

「SIソリューション事業」は、物流系や金融系を中心とした事業会社向けのシステムコンサルティング、システム開発・保守、並びにクラウドサービスを活用したシステム開発支援等を行っております。

「決済ソリューション事業」は、自社製品の電子決済ソリューション「Incredist」シリーズ、Android端末によるタッチ決済ソリューション「Tapion」及び無人自動精算機向け決済ソリューション等の開発・販売、並びにマイナンバーカードを用いた本人確認（公的個人認証）ソリューション「myVerifist」の開発を行っております。

「ECソリューション事業」は、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B II」の販売、並びに本パッケージ導入に係るコンサルティングやシステム開発及び保守を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	財務諸表 計上額
	SIソリューション 事業	決済ソリューション 事業	ECソリューション 事業			
売上高						
一時点で移転される財	254,216	1,176,919	35,956	1,467,092	—	1,467,092
一定の期間にわたり 移転される財	906,274	603,688	86,229	1,596,192	—	1,596,192
顧客との契約から 生じる収益	1,160,491	1,780,607	122,185	3,063,284	—	3,063,284
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,160,491	1,780,607	122,185	3,063,284	—	3,063,284
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,160,491	1,780,607	122,185	3,063,284	—	3,063,284
セグメント利益又は 損失(△)	144,668	△101,116	△48,583	△5,031	△293,901	△298,933
その他の項目						
減価償却費	3,141	172,938	17,938	194,018	2,898	196,916

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当事業年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	財務諸表 計上額
	SIソリューション 事業	決済ソリューション 事業	ECソリューション 事業			
売上高						
一時点で移転される財	264,515	1,252,880	21,149	1,538,546	—	1,538,546
一定の期間にわたり 移転される財	667,920	662,374	58,658	1,388,953	—	1,388,953
顧客との契約から 生じる収益	932,436	1,915,255	79,808	2,927,500	—	2,927,500
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	932,436	1,915,255	79,808	2,927,500	—	2,927,500
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	932,436	1,915,255	79,808	2,927,500	—	2,927,500
セグメント利益又は 損失 (△)	87,060	△41,018	△29,266	16,775	△293,158	△276,383
その他の項目						
減価償却費	2,433	224,024	189	226,647	10,818	237,465

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	42円87銭	46円23銭
1株当たり当期純損失 (△)	△38円61銭	△20円22銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、前事業年度は潜在株式が存在しないため、当事業年度は潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額及び1株当たり当期純損失 (△) の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	503,906	672,190
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	255
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	503,906	671,935
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数 (株)	11,755,496	14,535,675
当期純損失 (△) (千円)	△382,695	△252,739
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失 (△) (千円)	△382,695	△252,739
期中平均株式数 (株)	9,911,222	12,499,578

(重要な後発事象)

該当事項はありません。